

1 殺虫剤 [1,566]

登録番号	農薬名	登録業者(社)名	有効成分の種類及び含有量 ()内は農薬コード	注意マーク	毒性 消	魚介類 注意	包装・仕様
アクリナトリン水和剤〔3〕							
18953	アーデント水和剤	バイエルクロップサイエンス	アクリナトリン 3% (11391)		普		500g×20 100g×100
18955	日農アーデント水和剤	日本農薬					
18956	武田アーデント水和剤	住化武田					
アセキノシル水和剤〔1〕							
20187	カネマイトフロアブル	アグロカネショウ	アセキノシル 15% (11513)		普		500ml×20 5ℓ×4
アセタミプリド液剤〔6〕							
19742	モスピランスプレー	日本曹達	アセタミプリド 0.005% (11470)		普		(家) 420ml×10 ×3
20102	モスピラン液剤	日本曹達	アセタミプリド 2% (11499)				100ml×10×6
20641 20642	モスピランSL液剤 日農モスピランSL液剤	日本曹達 日本農薬	アセタミプリド 18% (11559)				

適用作物・適用病害虫・雑草、使用時期、使用量、使用回数	安全使用上の注意事項
りんご <7/3> モモシクイガ・キンモンホソガ アブラムシ類・リンゴハダニ ナミハダニ なし <7/3> シンクイムシ類・アブラムシ類 ハダニ類・カメムシ類 かき <7/3> カメムシ類・カキクダアザミウマ ハダニ類・チャノキイロアザミウマ カキノヘタムシガ ミカンキイロアザミウマ もも <前日/3> モモハモグリガ・シンクイムシ類 アブラムシ類・ハダニ類・カメムシ類 ミカンキイロアザミウマ ぶどう <7/4> チャノキイロアザミウマ・ハダニ類 フタテンヒメヨコバイ ミカンキイロアザミウマ いちじく <前日/2> カンザワハダニ・アブラムシ類 ショウジョウバエ類 ハスモンヨトウ・ヨトウムシ ビーマン <前日/2> アブラムシ類・ハダニ類 ミカンキイロアザミウマ きゅうり <前日/4> アブラムシ類・オンシツコナジラミ ハダニ類・ミカンキイロアザミウマ なす <前日/4> アブラムシ類・ハダニ類 ミカンキイロアザミウマ ハスモンヨトウ すいか <前日/5> アブラムシ類・ハダニ類 メロン <前日/5> アブラムシ類・ハダニ類 ミナミキイロアザミウマ ミカンキイロアザミウマ } 750倍 いちご <前日/4> アブラムシ類・ハダニ類 ミカンキイロアザミウマ トマト <前日/3> オオタバコガ ミカンキイロアザミウマ アスパラガス <前日/2> オオタバコガ アブラムシ類・カメムシ類 茶 <摘採14/3> チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ・カンザワハダニ ヨモギエダシャク きく <発生初期/5> アブラムシ類・ハダニ類 ミカンキイロアザミウマ 食用ぎく <発生初期/14/1> アブラムシ類・ハダニ類 ミカンキイロアザミウマ ハスモンヨトウ・ヨトウムシ	○粉末は眼に対して刺激性があるので、散布調製時には保護メガネを着用する。 ○蚕に長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合にはかからないようにする。 ○水産動物に強い影響があるので、河川、湖沼、海域及び養殖池に飛散・流入するおそれがある場所では使用しない。
かんきつ <7/1> ミカンハダニ・チャノホコリダニ ミカンサビダニ りんご <7/1> ナミハダニ・リンゴハダニ なし <前日/1> ハダニ類 ニセナシサビダニ 1,000倍 もも <7/1> モモサビダニ 1,000倍 ハダニ類 1,000～1,500倍 おうとう <7/1> ハダニ類 1,000～1,500倍 すもも <3/1> ハダニ類 1,000～1,500倍 ぶどう <14/1> ハダニ類 1,000倍 なす <前日/1> チャノホコリダニ 1,000倍 ハダニ類 1,000～1,500倍 きゅうり うり類(漬物用) } <前日/1> ハダニ類 1,000～1,500倍 すいか・メロン きく カーネーション } <-/1> ハダニ類 1,000～1,500倍 デルフィニウム <-/1> シクラメンホコリダニ 1,000～1,500倍	○ボルドー液などアルカリ性の強い薬剤との混用はさけること。 ○施設栽培温州みかんへの使用は葉害を発生させる恐れがあるのでさけること。 ○水産動物、特に甲殻類に影響を及ぼすので養殖池周辺での使用には十分注意すること。
なす <前日/3> ミナミキイロアザミウマ きゅうり <前日/3> アブラムシ類・ミナミキイロアザミウマ トマト <前日/2> アブラムシ類・シルバーリーフコナジラミ きく・ばら } <発生初期/5> アブラムシ類 ベチュニア } うめ <7/2> アブラムシ類 } 500倍 かき } カキノヘタムシガ } トマト <前日/2> } なす <前日/3> } アブラムシ類 500倍 いぬまき <発生初期/5> } つばき } チャドクガ 250倍 つつじ } <発生初期/5> ツツジグンバイ } 500倍 きく・ばら } アブラムシ類 } ベチュニア }	○まきむらのないよう均一に散布する。 ○重複散布や多量散布は葉害を生ずる恐れがあるので注意する。 ○体調の悪い時、妊娠中、飲酒後等は取り扱い及び作業をしないこと。
ばれいしょ <7/3> テントウムシダマシ アブラムシ類 } 4,000倍 150～300ℓ とうもろこし <14/3> アブラムシ類 } かんきつ <14/3> アブラムシ類 } 4,000倍 200～700ℓ ミカンハモグリガ } チャノキイロアザミウマ }	○眼に入らないよう注意する。 ○散布の際は、防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用する。

殺虫剤

殺虫剤